



令和5年2月1日の大雪対応について

盛岡広域振興局土木部

令和5年2月9日(木)

想いを形に 地域を元気に コロナに打ち勝つ!

今月1日、盛岡市内では一時最大48cmの積雪になるなど大雪となり、管内※では、降雪による路面状況の悪化や車両が立ち往生し、それに伴い交通渋滞も発生しましたが、大きな混乱となることなく除雪作業を進めることができました。2日以降は、拡幅除雪、現在は市街地を中心に運搬排雪するなど円滑な通行確保に向け除雪作業に取り組んでいます。

御通行の皆様には、今後においても気象情報・道路情報を確認いただくとともに、時間に余裕を持った行動をお願いします。また、除雪作業に御理解・御協力をお願いします。

※ 盛岡広域振興局土木部管内(盛岡市、滝沢市、雫石町、矢巾町、紫波町)

【令和5年2月1日(水)大雪】

盛岡地域では、2月1日の午前より本格的な雪になり、15:31大雪警報が発令、県の観測地点で27~37cmの降雪に見舞われ、管内※では、降り始めの早い時間帯よりグレーダーやロータリー車全246台の除雪機械を出動させ、管内51路線461kmの除雪作業にあたりました

そのような中、5か所で通行中のトラックや乗用車が立ち往生し、片側通行や渋滞を引き起こす事態が発生しました。除雪機械は、そうした場所にも駆け付け、時には脱出を手伝うなど早目の立ち往生解消のため、通行確保に努めたところです。

除雪は、県民の安全・安心を確保するため、建設企業、道路管理者(当部含む)が、昼夜分かたず献身的に作業を進めています。生活を守り、経済社会活動を守るため、日常の生活という期待を背負い、懸命に取り組んでいます。

《建設企業の除雪オペレーターから》

- ・自分がやらねばとの思いで自らを奮い立たせ、使命感をもって取り組んでいます。
- ・気象情報と天候に気を配り、速やかに出動できるよう体調と気持ちを整え準備しています。

【令和5年1月31日(火)除雪オペレーター育成支援 除雪訓練】

除雪は、様々な道路状況において、通行者がいる中での作業であり、瞬時の判断と機械操作が結果となるため高度な技術が要求されるものです。

しかしながら、除雪作業の担い手となるオペレーターの高齢化、人材不足といった課題に直面しているところです。

岩手県では、昨年度より除雪オペレーター人材育成支援の取り組みを進めています。

<R5.1.31 訓練状況>



《若手オペレーター(除雪訓練生)から》

- ・これから辞めていく高齢のオペレーターの方が多いので、若い人たちでつないでいければと思っています。

<R5.2.1(滝沢市)国道282号 混雑状況>



<R5.2.1(盛岡市)県道盛岡環状線 立ち往生車両>



<除雪作業状況 グレーダー>



<除雪作業状況 ロータリー車>

